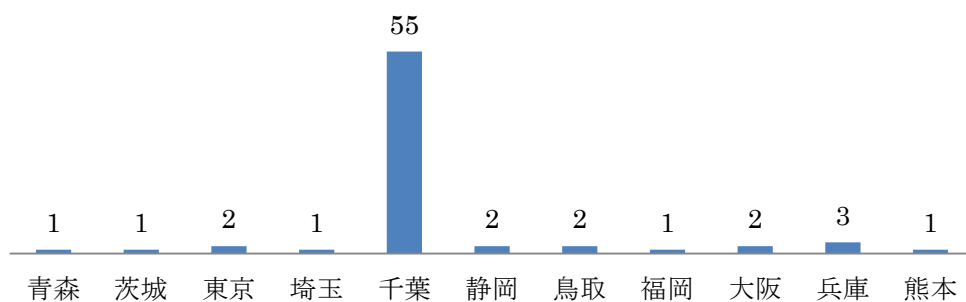
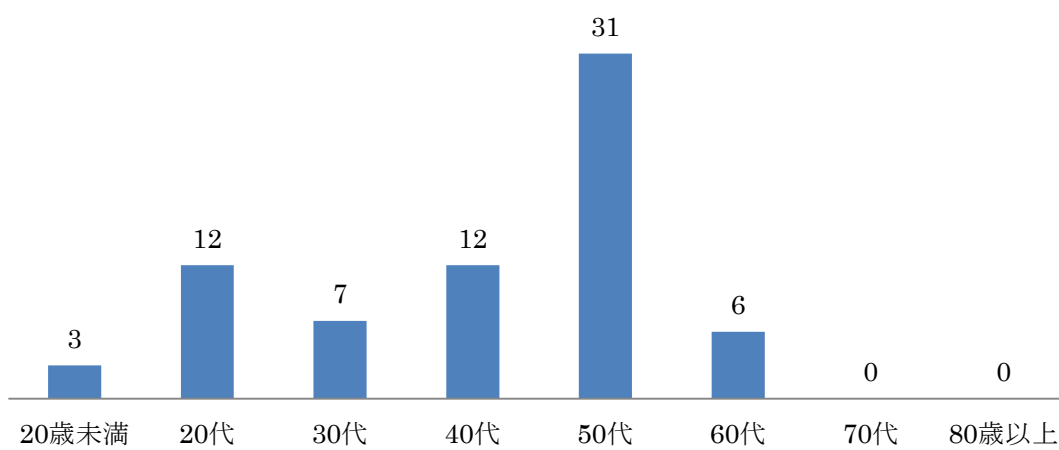


## 子どもみんなプロジェクト シンポジウム 2017in千葉 アンケート結果

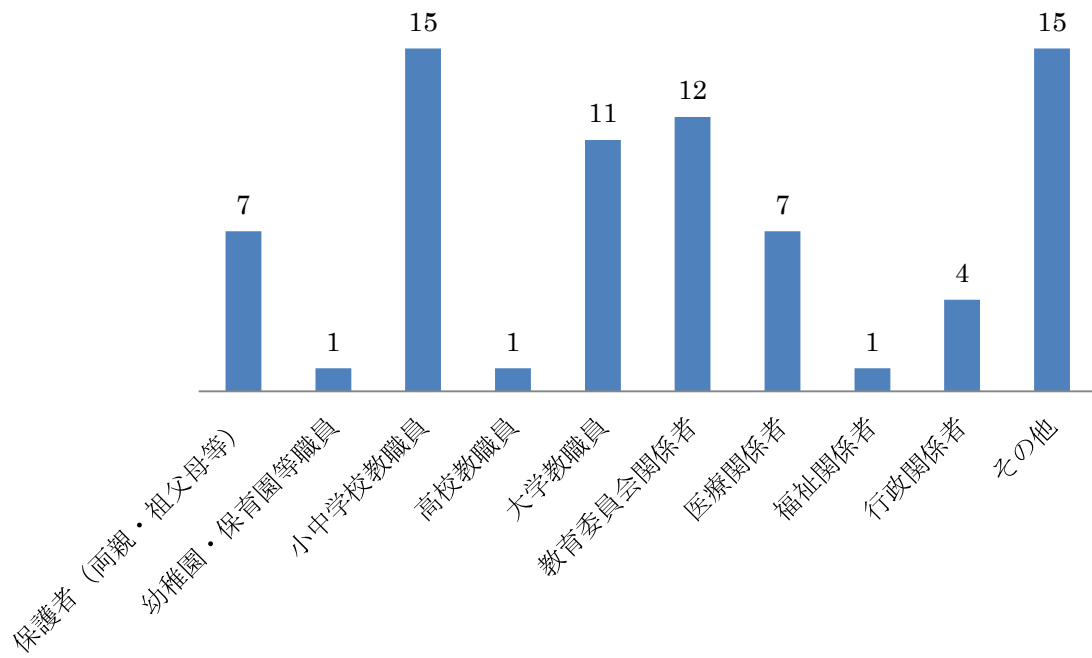
Q1 本日はどちらからお越しになりましたか？



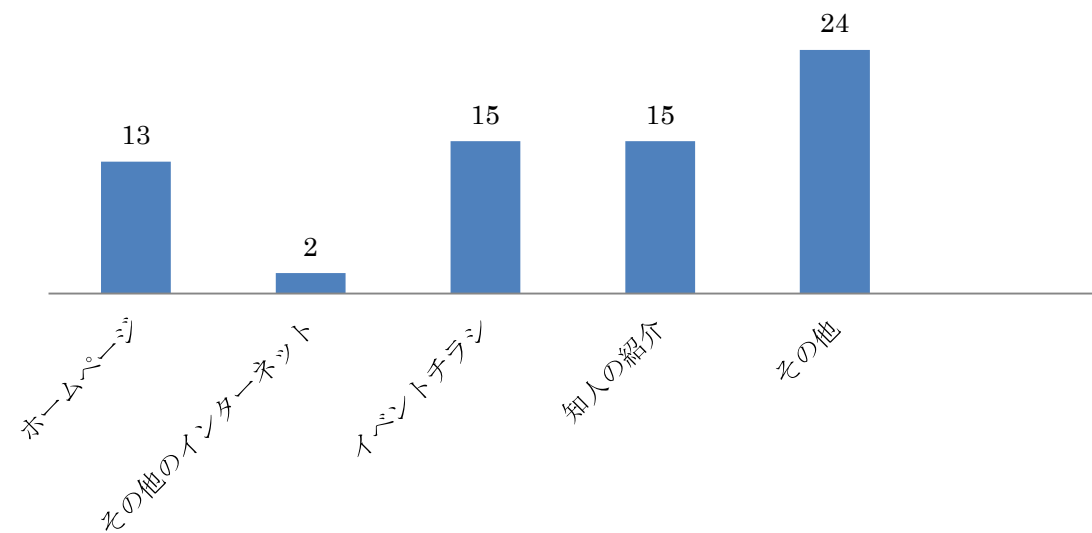
Q2 あなたの年代を教えてください



### Q3 あなたのお立場を教えてください



### Q4 このシンポジウムをどこでお知りになりましたか？



Q5 「子どもみんなプロジェクト」の今後に何を期待しますか。

実践

- 調査研究プログラムの開発、教育現場での実践例
- 教育現場での実践
- 学校現場以外での実践
- プロジェクトの研究を現実的な場面で実践できるようになるといいと思います。  
(多方面での協力も必要かと思いますが)
- 教育現場での実践また本日のようなイベントを期待しています。
- 教職員への伝達、実践、保護者への協力体制構築支援
- 実践的で簡便なプログラムの開発（経験や指導力の差に頼らない）
- 子ども達のこころを理解することの教育現場での実践
- 教育現場での実践
- 教師として人間、ロボットではない。そこを考えて、実践につなげてほしいです。
- 本日扱われた知見を生かした実践をしている先生の紹介

開発

- 教育現場で活用できるプログラムの開発
- プログラムの開発、普及に興味があります。
- 750名の中学校で養護教諭をしています。不登校対策部会にあがってくる生徒は50名います。学校全体の研究やプログラムと同時に保健室で取り組めるプログラムの開発等もやっていただくと大変助かります。
- いじめ防止プログラムをはじめ、様々なプログラムの開発は現場にとって大きな支援となります。
- 不登校や特別支援などプログラムの開発を進めていただきたいです。
- プログラムの開発とその実証結果の報告
- 学校風土尺度を自由に使用できるように、また統計が現場レベルでできるようなソフトを開発してほしい
- 調査については教職員自らが研修及びプログラムの実施の事前事後で、セルフチェックができるものが開発されないかと思っています。子ども支援プログラムでは、同じプログラムを毎年するわけにもいかないと思うので、発達年齢に応じた教材が整備されればと思います。

## 教員

- それを活用するための教員研修や教員養成研修
- 全国の教員の方々が小笠原先生のようにあたたかい（細かい）思いやりのある方だと日本の教育問題は解決するのでは？と思います。
- シンポジストのみなさんのお話、大変心にしみました。参加させていただいて良かったです。
- 認知行動療法はすでに教員はやっていることが多いです。今欲しいのは、教科、横断的に教育プログラムをつくることが求められている。中学校で2時間思考チェンジ法を実際やったが子ども達はとても有効であるというワークシートの記述がみられた。授業をやることで担任自身が心の教育を受けた感があるというコメントがあった

## 研修、イベント、講演会

- 公開研修等が定期的開催されると嬉しいです。
- 認知行動療法の研修会
- 子どもの保護者対策の研修
- 教育現場の先生方へのシンポジウム等のイベント、研修
- 研修会の講師
- 教職員研修に講師として来ていただきたい
- さらなるイベント、セミナーなどの広報活動
- シンポジウムのイベントでそのプログラムの説明をより詳しくお聞きしたいです
- シンポジウム等のイベント
- イベント等の案内を心理士会（千葉県心理士会）に提供していただけるとありがたいです。メンバーに毎週配布される情報メールにのせていただければ、SC だけでなくこどものころ関係の心理士たちも興味をもって参加できると思います。
- 講演会をたくさん開いてほしいです
- 学生としては実際に学生を対象としたよりわかりやすい講義をしていただきたいと思っています。

## 研究

- 研究成果
- 全国レベルでの調査研究
- 調査研究、その情報共有
- 子どもたちをとりまく環境に対する調査研究
- 調査研究をもとにして簡単な質問紙などを作成してほしい。

- 調査研究とその報告
- 本日の和久田先生のご報告のような研究成果の紹介
- 科学的アプローチ（分析）に加えて事例研究等により経験的実施検証が必要と考える
- 研究内容が学校現場に周知され、実際に活用されるようになる日が早く来てほしいと思う。
- 学際的研究の展開と現場への成果の還元
- 学級（学校）の風土、雰囲気を変えるために効果のあるプログラムや調査研究とエビデンスの提供
- 実際の教育現場や医療現場に活かすことができる研究
- ICT を生かした研究形態で多くの人に広げる
- 研究結果の分析から明らかになったことをもとにした具体的に現場で使えるプログラム
- 教育現場に実際にいる職員と研究者との連携についてもっと明確に提示してほしい

#### 理解

- こころを理解すると子ども理解の重要性を感じながらもその見方がせまいことを感じています。
- 保護者の理解促進のアプローチ
- 子ども達のこころを理解する方法について
- 学校で活用し、児童生徒理解に活かせるようなもの（いじめなどの未然防止につながる気がする）
- 一般の人が ADHD や多動性障害などの発達障害について理解が広がるような取り組み

#### 学校風土

- 学校風土の理解促進と汎用性
- 個人的には学校風土尺度にとっても興味があったので、Excel 等のファイルで現場で活用できるようになれば嬉しい

#### 現場

- 調査データの活用により、子ども達の未来が明るくなるよう、また教育現場のみならず、地域・親の教育も大切なのではないかと思う
- 現場の困り感に寄り添うようなやり方を連携することで進めてもらいたいと思います。
- 現場、研究者、行政、保護者そして子ども達自身を含むすべての知恵を集めて誰

もが幸せになれる学校（人材育成）を進めてほしい。その根拠となるデータを提示できる本プロジェクトに大変期待しています。

- 広報、情報発信、普及へ。現場、どの学校でも活用できる取組にすすめていただきたい”
- 教育の現場と科学研究者たちが協力、共同して子どもの問題に対応する
- 学校現場や授業で取り入れられる内容について
- より簡易で学校現場で取り組みやすい仕組み。不登校（不適應）から復歸した事例のDB化
- “現場で使えるプログラムの具体的な紹介をしていただきたい（勇者の旅ですら内容がわからない）。提示があった調査が「なぜ科学的に根拠がある」と言えるのか

#### その他

- PBISの導入支援
- 今後も私のような一般の者もお話を伺えれば幸いです
- 情動についての調査などもうすこし具体的に説明を伺いたい
- 認知行動療法など
- 気軽に相談できる窓口（会社のパワハラ窓口のような）
- 先生方の苦勞を伝え、子どもへの対応の仕方などを考える”
- 教育行政、法整備などの説明
- JaSCの活用促進に向けた取り組み
- エビデンスをもとにした「いじめ」や「学習」に関わる指導法の連続講座
- 子ども一人一人にちがう背景、原因があるならば教師にもあるのでは。
- 様々な分野の研究発表
- プログラムを活用するための指導
- 勇者の旅プログラムの内容を具体的に知りたかったです
- 不登校と絡めているところは特に納得しました
- 情報提供

Q6 ホームページにどのような情報があればよいと思いますか。

#### 窓口

- 相談窓口
- 教員向けの相談窓口
- 相談窓口をもっとアピールして、みんなが知ることが出来ると思います
- 子ども・保護者の相談窓口

#### 実践

- 教育行政、学校現場の実践（実際の教師の様子例）の詳細が見られると良いと思います。
- 研究実践例など。現場での事例

#### 情報、詳細

- 不適切な行動への対応スキルなど現場で即役立つ情報。科学的子育て情報
- Q&A 方式で研究結果が分かる情報
- 困った時、困った事にどこに相談すればよいかの情報
- メールで質問した時に答えがもらえる
- 研究データの詳細
- 可能であれば「勇者の旅」プログラムの詳細や内容の提供があれば。（相談室登校の生徒 or SC 相談室にきている生徒に使わせていただきたいと思っています）
- プログラムの開発内容と成果「NewsLetter」

#### 過去、例、結果

- 過去の研修内容の記録
- 成功事例等の開示
- 現場の教師、養護教諭などからの意見、事例の紹介などの問題提起
- 不登校（不適應）から復歸した事例の DB 化
- 研究結果
- 分析結果がいつでも見られるようになると良い

#### その他

- 学校で利用できるプログラム
- 簡潔でよいと思います。
- とくどき時代の変化に伴い話題になっているトピックスについての回答”
- まだ拝見していません

- 子ども達に HP の存在を知らせてほしい
- 調査研究がわかりやすく保護者会等で活用してよいと思います。
- 尺度やその統計ができるソフトをいれてほしい
- このプロジェクト自体を学校教育現場の教員が学べるプログラム
- 専門基礎研究の知見や成果などの分かりやすい解説文の掲載など
- 指導案等
- 実際に行っている活動内容
- 先生からよく受けることがらや市町村 HP に趣旨とリンク先をはる

#### Q7 「子どもみんなプロジェクト」全般に関するご意見・ご要望

##### 現場

- 1 人でも多くの方にプロジェクトについてご理解いただくことが必要であると思います。学校現場への応用するためにどう進めていくか関心があります。
- 現在不登校対策や教員相談に関する業務をしていますが、やはり現場が現状をよく理解していない、危機感を持っていないと感じます。教員としての資質、能力の差も大きく、管理職の手腕にもよりますが、公立学校（子どもは学校を選べない）においては、どの学校でも子どもたちが安心、安全に過ごせるようにするべきだと思います。そのための活動を推進していただきたいです。
- 今回のシンポジウムは熊本からかけつけたかがありました。13 名の生徒を兎相につなぎ、警察介入もあっている学校です。「対応、対策の方法が見える」ことに大きな期待感を持ちました。ただ遠すぎるので、ぜひ九州内でのセミナー開催、大学、現場との連携を広げていただけたらと願います。ありがとうございました。今日の内容を管理職に伝えます。
- 今日はシンポジウムをありがとうございました。和久田先生をはじめとする貴重な研究・結果を紹介していただける機会を楽しみにしてきました。はやく広く学校現場に研究の成果が広がり子どもたちのため教師のためになることを期待しています。
- 調査費用 100 人に 4500 円だと本校 3 万、厳しい。実際に本校（現場）で取り組んできたことと大きく重なり、すばらしいプロジェクトとの出会いができました。今後の動向を今後のシンポジウム参加、HP でつないでいければいいと思います。
- 教育現場の先生方に参加してもらって今日のような講演、シンポジウムをきいていただきたいです



### 勇者の旅、学校風土

- 小笠原先生と清水先生のお話に説得力がありました。「勇者の旅」素晴らしいと思います！！
- 「勇者の旅」千葉県のみならず千葉市へも発信してほしいと思いました。認知行動療法はとても必要なスキルと考えます。ありがとうございました。
- 学校風土尺度を全市、全県規模導入されることを期待しています。
- 学校風土尺度に興味があって参加しました

### 研究、科学、エビデンス

- 研究成果が普及されるよう期待しております。
- 教師の基本研究プログラムの内容を免許更新研修にいらしてくださいとよい
- 教育の実践（特に心情や言動の変化などの効果）をエビデンスであらわすのは、とても難しいことだと思う。が、どのような方法で行ったのかとか学校で活用できるものを開発していただき、児童生徒・先生方のためにがんばっていただきたいと思う。
- 科学的根拠は1つのものさしとして学校教育にいかせると思うので大変期待しています。

### 環境

- 熱心に取り組んでいらっしゃる教員の方が多数いる反面、授業の進行だけでいっぱいいっぱい、子どもの環境にまで目の届かない教員も多いのかなと感じています。弱い立場にいる子どもの為に今後ともよろしく願いいたします。
- 子を持つ親として教育をはじめ、子ども達をとりまく環境がどのようなしくみなのかよく知りませんでしたので、勉強させていただきました。このような素晴らしい取り組みが保護者ともより共有できるといいと思いました。私も子連れで本日参加しましたが、渦中の保護者は多忙なのであまり知る機会がないのかなと思いました。
- 子どもたちが安心して生活できる環境づくり等

## 教員、子ども

- GBT は教育の場に（予防的にも治療的にも）とても有効であるという思いをあらためて強く感じました。SC として保護者や教員研修でも積極的に紹介していきたいです。ツールがあると嬉しいです。
- 実際に教員から子どもへ伝えることになったとき、教員がもつ“教師力”によって伝わり方がかわってくるのではと思う。こどもよりも教員養成を優先すべきかと考えます。
- 現職教員に広めるにはもっとかみくだいた内容にする必要がある
- 子ども達の未来に関わって行っているプロジェクトだと思います。応援します。

## その他

- 教師の徒労感が多忙だからではなく、効果が見えないからだと思います。科学が（アセスメントツールなど）導入されることで PDCA サイクルが生まれ意欲向上につながると思いました
- 馳議員のお話は政治色が濃くて少々問題あります。話の内容、要旨はそのままと依頼したのでしょうか。
- 大人版もあってもよいのでは
- 挨拶時登壇に時間がかかるので工夫が必要だと思いました。
- 研修等のお知らせが保護者や職員に身近な情報として届くとうれしいと思います
- もっと一般に広く周知されるべき取り組みだと感じた。
- 地域の教育力をとりいれることが大切
- 和久田先生の話をもっとじっくり聞きたかった。そのような場はあるのでしょうか？
- 会場が暗すぎてメモが取れなかった。もっと明るくしてほしい。”
- 今後楽しみです。
- シンポジウムが無料だったので足を運びやすかったです
- ぜひ具現化した内容を PR していただけると嬉しいです
- 生徒が自分自身でモニタリングできる仕組みの必要性があると思う
- とても充実した内容でした。続きが楽しみです。
- 他地域の様々な立場のお話を伺い、たいへん期待が広がるとともに、今後推進していく責任が深まっていく思いが致しました。
- 期待が大きいと思うのでぜひ推進してほしい